

第1回総合教育会議

議事録

令和元年12月20日開催

湯沢市

第1回湯沢市総合教育会議 議事録 要旨

日 時：令和元年12月20日（金）

午後1時30分～午後3時

場 所：本庁舎2階会議室25・26

<開 会>

総務課長

湯沢市総合教育会議を開催致します。はじめに、市長から御挨拶を申し上げます。

市長

本日は、年末の忙しい時期にも関わらず御出席いただきまして、ありがとうございます。この会議は市長と教育委員会が対等な関係におきまして、協議・調整の場として設置が義務付けられているものであります。今回は令和2年度に予定されている重点的な事業について御報告し、御審議をいただく場でありますので、よろしくお願い致します。

総務課長

続きまして教育長から御挨拶を申し上げます。

教育長

日頃から教育行政に御理解と御尽力を賜りまして、お礼申し上げます。また、本日は総合教育会議を開催していただきまして、ありがとうございます。私たちは、市の教育大綱に規定する5つの基本方針に基づき、教育委員の皆様の御助言と御指導をいただきながら、教育行政の各施策を実施しております。小中学校の子供たち、そして市民の皆様に更に満足していただけるように、来年度も各種事業を進めてまいりたいと考えておりますので、市長には御助言、御支援をよろしくお願い致します。

総務課長

ありがとうございました。それでは案件に入ります。湯沢市総合教育会議要綱第4条第1項の規定により、これからの進行につきましては、市長にお願い致します。

市長

それでは、案件を御審議いただきたいと思います。始めに、案件1の令和2年度の主な取組予定について、事務局から説明をお願いします。順次お願いします。

教育総務課長	<p>説明に入ります前に、一点お願いを申し上げます。これからの事業説明の中で申し上げます「事業費」につきましては、あくまで現段階での計画額でございまして、決定したものではありません。事業費は今後予算査定、議会の議決を経て決定されることとなりますので、その点御留意いただきますようお願い致します。</p> <p>(資料に基づき説明)</p>
学校教育課長	<p>(資料に基づき説明)</p>
生涯学習課長	<p>(資料に基づき説明)</p>
子ども未来課長	<p>(資料に基づき説明)</p>
市長	<p>それぞれ説明を終わりました。一括して協議いただきたいと思います。御質問等ございましたらお願い致します。</p>
後藤委員	<p>小中学校のエアコン整備事業についてお伺いします。昨今の異常な気象で、非常に蒸し暑い日々が5月頃から続いたりしています。子供たちの健康管理は非常に大事ですので、よろしくお願ひしたいと思ひます。エアコンは電氣を使うエアコンと、ガスを使うエアコンがあるというふうに聞いていますけれども、どちらの方で進めていくのか。また、コスト面、メンテナンス面はどうなっているのかということをお伺ひします。</p>
教育総務課長	<p>エアコンの種類に関しましては、「電氣方式」「ガス方式」の2種類について比較検討しました。イニシャルコスト及びランニングコスト並びに維持管理面を検討した結果、ガス方式を採用するという結論に至りました。</p>
佐藤委員	<p>学校用パソコン更新事業について伺ひます。これから学校ではプログラミング教育の開始、教科書にはオンライン教材のリンクの掲載など、ICTの活用に係る教育を実施していただけるとのこと。また、パソコン更新事業も平成29年度から計画的に進められているとのことで、手厚い学習環境の整備に、保護者としても感謝しております。こういった学習環境の充実と、実生活上でのインターネット接続環境の地域格差</p>

解消により、未来を担う若者たちが更に自由な働き方を模索でき、地域活性化の一助になるものと私は考えます。

また、今年度は皆瀬小中学校・皆瀬中学校合同で「メディアコントロールチャレンジ」という、パソコンやスマートフォン、ゲーム機、メディア機器を使用する時間や内容を、子供たちが自分でコントロールする力を養うような取組をしていただきました。PTAで御紹介いただいたものですが、脳科学者の川島隆太先生の著書では「スマホは使う時間が長いほど成績が下がる」などの懸念が示されております。パソコン整備事業と併せ、こういった取組を色々と実施していただければと思います。

市長

色々とPTAの研修などで情報収集し、勉強をされているのですね。

佐藤委員

保護者として有り難いと思っております。昨今、メディア経由で被害を受けたりすることがあるので、そのような危険性への注意喚起なども学校教育一環として取り組んでいただければと思います。

学校教育課長

いわゆる「ノーメディア」に関しましては、現在、小・中連携教育の中で取り組んでいるところであります。実施期間は学校によって違いますが、スマートフォン・携帯電話は触らない、テレビも控えましょう、という形でやっているようです。保護者の方に伺ったところ、「親子での会話をはじめ、子供と接する時間が増える」というような感想をいただいております。また、児童生徒からも「勉強時間がしっかり取れる」、「家族とのふれあいの時間が増える」というような感想がありました。今や不可欠な「メディア」ですが、ちょっとその使用を控えて、もっと「家族のふれあい」、「自分の時間の使い方」といったことに目を向けることが必要だと思いますので、今後も学校の取組で意識付けを図ってまいりたいと思います。

阿部委員

この機会を利用して、要望をさせていただきます。まず一つ

目ですが、学校統合事業について、様々な方法なり、問題、課題の解決方法について熟知しておられることと思いますけれども、学校統合につきましては非常にデリケートな問題もありますので、行政が一体となりスムーズに、そして将来的に「統合して良かった」あるいは「学習成績がぐんぐんアップしていった」といった、実績が残るような統合にしていただければ、有り難いと思います。

もう一点ですが、「就学前の子供を対象とする教育相談事業」について、資料では「課題の見られる子供」が35%から40%おり、コーディネーターの方を1人から2人に増員するという計画ではありますが、こういった子供たちを育てていくということは非常に大事なことです。1人と言わずに、十分な対応ができるように増員していただければ有り難いと思います。

市長

はい。御要望については、承ることとします。学校統合につきましては、各地域から様々な御意見があり、議会でも様々な質疑をお受けしたところであります。私はそうした御意見も十分に意を用いて、受け止めながら、統合を進めて行くという立場でありますので、これまでのように地域に出かけて色々意見を伺ったりと、十分関係者の声を聴きながら進めてまいりたいと考えております。

就学前の子供のコーディネーターの増員について、もっと人数が必要でないかという御意見でありますけれども、どうですか。

学校教育課長

十分な人数の増員を実施してまいりたいと考えておりますが、「誰でもいい」という訳にはまいりません。現在コーディネーターをなさっている方は、学校の校長経験者であります。ある程度、そういう経験のある方、また、特別支援教育に関わった経験のある方でなければならぬと考えておりますので、人材的な面も含めまして、検討させていただきたいと考えております。

芳賀委員

小学校統合事業について、教育総務課からハード面と統合準備についての事業費が提示されております。湯沢西小学校関連につきましては、1年という、非常に短い期間で実施しますので、ぜひ教育委員会以外の部署の方の協力も得て、スムーズに進めていただきたいと思います。湯沢西小学校に統合される三関小学校、須川小学校の子供たちが違和感なく、あるいは疎外感なく一緒に学べるような状況を整えるという、事業費に出てこない部分が大事なことでありますので、ぜひ学習指導、生徒指導等について共通指導ができるよう、この1年頑張ってくださいと思います。

また、部活動指導員の配置について、「働き方改革」と連動した国の方針に基づき実施される事業であります。部活指導をできる教員のいない学校があり、外部から専門の指導者を招いて指導をしていただくということは、子供たちの部活動に対する意欲と、技術の向上という面でも大変良い制度であると思います。ただ、事業開始時の、「各校1名」という割当てや、「平日2時間で週3回」という勤務時間の枠については今後十分検証していただいて、大会等への参加もできるよう拡大を検討していただきたく思います。

教育長

中学校の先生の場合は部活動に関わっている時間がかなりありまして、私たちが改善を目指している勤務時間が達成できないという問題があることから、各学校から要望を聞いたうえで、各中学校に1名というかたちで部活動指導員を配置することとしました。

専門家に指導していただくと、効率的ですし、技術力もアップするという大きな効果があります。来年度は6人ですが、計画ではさらに増やしていきたいという構想を持っております。しかし、この事業は国と県と市町村とが事業費を3分の1ずつ支出するものであり、指導員を増やすと市の支出が増えることとなります。予算については、教育委員会として県の副市長会議等を通じて、文部科学省に増額の要望をしてお

りますが、もし推進してくださるということであれば、市の予算も必要になってまいりますので、どうかよろしくお願い致します。

芳賀委員

「学校情報環境推進事業」であります。プログラミングが正式な授業として位置づけられ、教育の現場では全く新しい分野ですので、全教職員を対象とした研修等を行いまして取り組んでいるところであります。有り難いことに、市内の事業者さん、団体さんが強力な支援をしてくださっており、たとえば公益社団法人湯沢法人会さんからは、合計80万円相当のプログラミング授業用キットの寄贈をいただいております。学校以外の組織の協力をいただきながら、ぜひこのまま推進していただきたいと考えます。

また、近年、学校、家庭、教育委員会との情報の共有が非常に進んできております。メール配信という形で、市内の学校、教職員、保護者の皆様が一斉に災害等の情報を共有できるというのは画期的なことで、こういうことにつきましては、ぜひ推進していただきたい。また市の方にも理解をしていただきたいと考えております。

市長

かつては、一人一人連絡網で電話するという形だったと記憶しておりますが、今や瞬時にメールで情報が共有できるという時代です。安全・安心の点につきましても、市が瞬時に情報発信できますので、子供たちの将来にとっては良い環境ではないかと思えます。市としましてはメールだけでなく、強力なスピーカーで情報を発信する「災害時等情報伝達システム」を配備します。140基ほどの強力なスピーカーで山間部を含めた全市を網羅しますので、災害時の避難情報などを地域全体に伝えることができます。スマホ、テレビ、ラジオと様々な機器がありますので、総合的に活用して、できるだけ多くの市民の皆様へ情報が伝わるよう環境を整えていく、という取組をしているところであります。このほか、地域自治組織、自主防災組織といった形で、地域において防災態勢を

取っていただいております。市ではハード・ソフト両面で安全・安心の地域づくりをしているところでもありますので、小中学校にもそうした災害等の情報が入るよう、連携してまいりたいと考えております。

教育長

現在、学校運営協議会、コミュニティースクールを推進しておりますので、市が安心・安全な地域づくりに取り組んでいることを、子供たちに周知しなければならないということを感じました。

市長

防災訓練などでも中学校に参加していただいていますからね。避難所の設置など、色々、中学生に地域の一員として協力をしていただいております、非常に良い取組であると思います。

部活動の指導員ですが、今は「親の会」がそれぞれの部活動で指導者探しをして下さっているんですね。既にボランティアで指導してくださっている方には引き続きお願いすることになると思いますが、その中から各学校1人ずつの指導員になっていただくということで、制度が始まると思います。人数等の条件を検証してほしい、という御意見がありました。色々、部活、保護者、子供たちの在り方を考えながら今後対応していく必要があると感じました。

教育長

スポーツ部だけでなく、文化部もありますからね。合唱部や吹奏楽部など。

市長

「指導員」という「人」がいればいいというだけではなく、指導できる能力を持った「先生」「指導者」という条件で考えると、「この人は必要だ」ということになるだろうと思われれますので、そこを見極めながら対応していく必要があるという感じがします。

教育長

小学生のスポーツ少年団も、保護者の方が色々仕事を持ちながら関わってくださっていて、指導者の「人材バンク」などというものがないか、という相談を受けたことがあります。なかなか難しいところがありますね。

市長

スポーツ少年団も中学校の部活動も、保護者の会がバックアップしていて、その保護者の中にもクラブ・部活動の経験者がいて、指導者として頑張っている、というのが現状であると思います。今の子供たちは各種大会で好成績を上げていますが、これを更に伸ばすということを考えると、適切な指導者がいることが望ましい。今後の課題として、考えてまいります。

他にございませんか。

後藤委員

「障害者への生涯学習支援事業」について、現在、「共生社会」と言われている中で、障がいを持っている方がなかなか外に出られない、という話を良く伺います。このような、障がい者本人の希望や能力に応じた学習プログラムを設定し、就労を見据えた事業は、障がい者の自立の実現を促進するもので、大変有り難いものであると思います。積極的に募集して、頑張っていたきたいと思います。

佐藤委員

コワーキングスペースのことについてですが、TABIJi（たびじ）という施設を初めて知り、インターネットで場所などを調べてみました。この事業は今年度から始まるのでしょうか。また、どれぐらいの利用者がいらっしゃるのか、お伺いします。

生涯学習課長

湯沢市が事業を始めたのは今年度からであります。TABIJi（たびじ）という施設を利用する事業ですが、県からリード学舎さんへの委託事業という形になっており、来年度まで実施する予定となっております。利用人数は、昨年7月の事業開始から11月まで計11回の開催で、延べ人数が85人、平均で各回約8人であります。

佐藤委員

わかりました。必要な方に情報が届くよう周知していただき、たくさんの方に利用していただいて、一人でも多くの方がこういった事業により豊かな生活を営めるようになっていただけたら良いな、と思います。

市長

事業の評判は良いですね。

生涯学習課長	<p>おかげさまで、新聞にも取り上げていただき、注目をされているところであります。今お話しいただきました通り、必要とする方に情報が届くように、周知の方法等も様々な角度から検討してまいりたいと考えております。</p>
阿部委員	<p>放課後児童クラブのことについてお伺いしたいと思います。資料では、稲川地域の放課後児童クラブが来年度から設計に入り、場所は「川連小学校地内」、という記載になっておりますが、もう少し具体的に説明できる部分がありましたら、教えていただきたいのですが。</p>
子ども未来課長	<p>最終的な結論に至っていないというのが現状であります。現在、稲川地域には2つの放課後児童クラブがあり、それを小学校統合に併せて整備したいと考えておりますが、新設して整備する方式、あるいは川連小学校内に余裕教室が発生するまでリースにより対応する方式等、それぞれの方式の実現の可能性も含め、検討しているところでありますので、庁内協議等を経まして決定した時に、お知らせしたいと考えております。</p>
市長	<p>まだ具体化できるところまで進捗していないということであり ます。</p> <p>他にございませんでしょうか。よろしいですか。それでは、協議案件につきましては、御協議いただきました。御了承いただくことでよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>異議なし。</p>
市長	<p>御了承いただき、ありがとうございました。</p> <p>それでは、その他につきまして、何かありますか。</p>
芳賀委員	<p>この秋に各小中学校で学習発表会が行なわれました。かつて歌や踊りや劇を行っていた「学芸会」ですけれども、内容が最近だいぶ変わっており、地域の歴史、産業、農業、特産物、そういったものについて調べてステージ上で発表するようなプログラムが多くなりました。子供たちが地域と強く結びついてきていることが感じられ、非常に学習が地について</p>

いる、という印象を受けております。中学校ですと、地域の祭りや特産物を研究したものを教室に展示するというような内容で、調べた子供たちだけでなく、それを見た児童生徒、あるいは保護者、見学者等にも非常に良い印象を与えていると思います。市役所の庁舎などにも、研究発表などで地域の子供が見学したいという要望があれば、「市役所ではこういう仕事をやっていますよ」と積極的に、力を入れて見学対応、説明等取り組んでもらえればと思います。そうすると、湯沢の公務員になろうとする子供も中には出てくるのではないかな、と思います。

それからもう一点ですが、山田中学校のキャリア教育、要するに「起業」ですね。新しく株式会社を起こして、そこで地域と結びついた食品を作ろうという取組を行っています。既存の産業、あるいは既存の農業に就業するという単純な考えではなく、地元で新しいことに挑戦すれば、自分が地元で生活して行けるし、地元も盛んになる、という意識を小中学生のうちから育てていく、ということも市を盛り立てるためには大事なことであると思います。「地元は何にもないところで、農業も衰退している」というものではなくて、「こういう形の農業をやっていけば地元で生活して行ける」というようなことを小中学生の時からイメージできるように、学校での指導を行いたいと思いますし、市当局の方もそういう観点で情報を出す、あるいは学校に付託していけば、湯沢市の将来に結び付くのではないかな、というようなことを山田中学校の取組から感じました。

市長

貴重な御意見をいただき、ありがとうございました。市役所は、普段小学校・中学校との直接的なつながりというのはあまりないわけではありますが、例えば、ジオパークの研究会などを開催しますと、小学校の児童の皆さんがかなり専門的な勉強をした上で参加してくれまして、県内外から非常に良い取組ということで評価いただいております。また、地域の敬

老会にも小学校の児童が参加し、合唱などを披露していただき、非常に喜ばれております。番楽や、芸能クラブのある学校がありますが、地域の歴史や文化を継承しているということで、絶やしてはならない活動であると思います。また、高校生の一泊市長体験事業を、各高校から生徒を募集してやっています。各部課長の会議に参加をして政策を考えたり、市長室で決裁文書にハンコを押すなどの体験をしていただいております。市役所の仕事に興味を持ってもらうためにも、こういったことも続けていきたいと思っております。

また、市内で高校生と中学生が一緒になって起業した事例がありますね。起業の面白さというのが昔とは全然違うなという印象を受けます。山田中学校の取組も、地域の食堂ですとか、農産物とか、それから食材を扱う事業所とのコラボレーションで、カレーやまんじゅうなど、色々やっていますね。このように、中学生の頃から事業のおもしろさを体験していくというのは重要であると思っておりますので、こうした実践を他の学校にも広めて取り組んでいただければ、「子供たちが元気、そして湯沢市も元気」ということにつながると思います。

ひと昔前ですけれど、本市は平成20年に「音楽のまち”ゆざわ”」を宣言しましたが、そのきっかけとなったのは、ある時期毎年のように市内の中学校が吹奏楽や合唱の全国大会で好成績を収めたことでした。これは自他ともに全国に誇る「音楽のまち」であると、先生方と相談して、「サマーミュージックフェスティバル」で「音楽のまち”ゆざわ”」を宣言し、本市の特色として今日まで続いております。

これらの事例から、本市の中学校、小学校の児童生徒の可能性というのは本当にすごいものがあるなあ、という実感を持っております。今いただいた御意見は、これから子供たちの学習環境を整備するに当たり、大事なことであると思っております。貴重な御意見、ありがとうございました。

教育長

山田中学校の「山中コーポレーション」は、キャリア教育、ふるさと教育の一環として、生徒会が中心となり、生徒全員が一つになって取り組んでいるということで、非常に特徴的だと思いました。

もう一つ情報があり、雄勝中学校で特別支援教育の生徒が、それぞれの特技を生かして作品を作り、道の駅の食堂や銀行などに展示をする活動をしているという事例がありました。特別支援教育については、各学校が力を入れて取り組んでいる状況ですが、保護者の方からは、自分の子供が将来運転免許などを取得し、手に職を持ち、自立することができるのかどうか気がかりである、といった声が寄せられております。そういう面で、特別支援教育においては「ただ見守ればいい」ということではなくて、子供たちが社会に出て自立するための、知識や技術を習得するための学習の機会を設ける、ということ、我々が学校現場でやっていかなければならないと思います。将来的に自立できれば、市の活性化にも寄与するものですし、そういう面では幼稚園、小学校の早い時期に、子供たちの状態に合った学習環境で学ぶことが大事であると思います。「物覚えの良い、学習に適した年齢から通常学級で勉強をさせたい。特別支援学級、特別支援学校もあるけれど、中学校卒業後に考えたい」という保護者の方の気持ちもわかりますし、そこは難しい問題ですね。我々も、コーディネーターの方や担任の先生と連絡を密にして対応しておりますが、福祉関係も含めて連携し、保護者の皆様との信頼関係を築いていかなければならない状況だな、ということをつくづく感じております。

佐藤委員

先日、奨学金に関する制度改正の議案を教育委員会で審議しました。現在、市の奨学金を借りている学生の人数が一けた台で、とても少ないということで、制度改正後に周知などをしていただいて、利用する人が増えてくれればいいなと思うとともに、その施策が今後、若者の地元定住を促進するまで

に育ってくれればよいなと、私は考えております。私は皆瀬地区の住民ですが、旧皆瀬村の奨学金制度では、卒業後に村内に定住し、就業をすれば返済の一部を免除するという施策があり、私自身も制度を利用して大学に行きました。現在の奨学金制度でも、そういったことを実施すれば人口増加が期待されますし、定住した方々が納税者になり、湯沢市の担い手にもなると思いますので、可能であればその段階まで奨学金制度が育って欲しいと感じております。

市長

大変良い御提言をいただきました。この提言はどうですか。

教育総務課長

御提言いただいたことも含めまして、現在検討しているところであります。協働事業推進課と連携し、取り組んでおりますので、よろしくお願い致します。

市長

貸与型の奨学金制度は、卒業と同時に借金を背負うことになることが問題視されております。「地元に戻り定住すると免除」という形の施策を、現在、教育総務課と協働事業推進課で検討中であります。この度の制度改正では、貸与の月額が3万円であったのを、5万円にしました。金額を引き上げて、もっと活用していただこう、という形にしております。ほかに、ございませんか。よろしいですか。それではその他につきましてはこれで終了致します。協議案件はこれで終わりです。

総務課長

それでは、以上をもちまして令和元年度第1回湯沢市総合教育会議を閉会致します。本会議は、公開を基本としておりますので、議事録を作成し、後日、市ホームページで公開することと致します。

本日は慎重な御審議、ありがとうございました。

<閉 会>